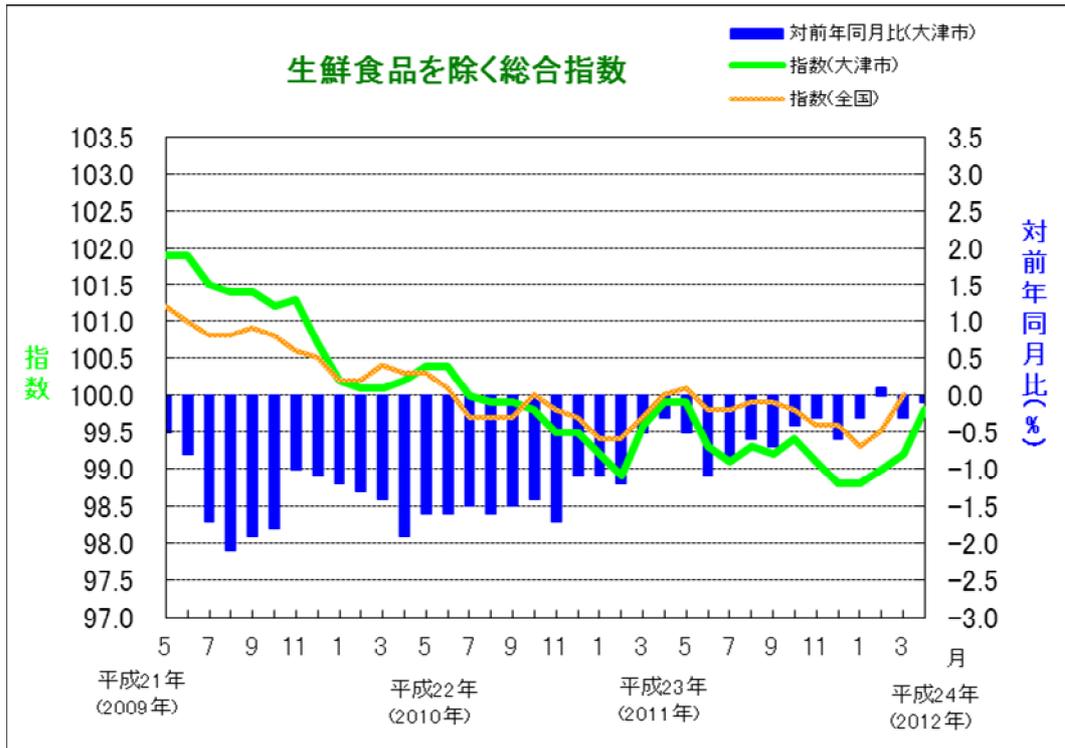
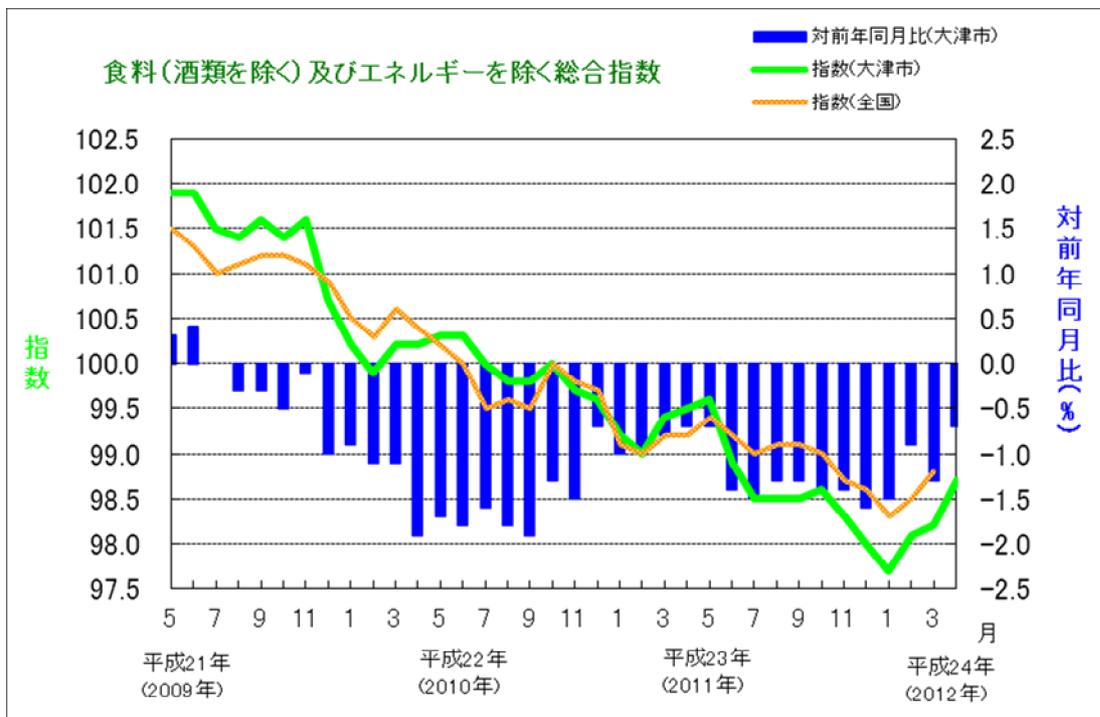


3. 生鮮食品を除く総合指数と対前年同月比の推移



4. 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数と対前年同月比の推移



※
「食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数」 = 「総合」 - 「食料」 + 「酒類」 - 「エネルギー」

「エネルギー」…電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

5. 10大費目指数と前月・前年同月比および寄与度

平成22年=100

区 分	指 数	対前月		対前年同月	
		上昇率(%)	寄与度	上昇率(%)	寄与度
食 料	99.6	-0.7	-0.18	0.3	0.07
住 居	98.2	1.1	0.23	-0.9	-0.19
光熱・水道	105.5	0.4	0.03	4.7	0.32
家具・家事用品	94.2	-0.1	0.00	-1.5	-0.05
被服及び履物	102.1	3.1	0.12	1.4	0.05
保健医療	98.8	1.0	0.04	0.1	0.00
交通・通信	103.1	0.7	0.11	0.6	0.09
教 育	100.8	0.9	0.03	1.3	0.04
教養娯楽	95.1	-0.3	-0.03	-3.0	-0.34
諸 雑 費	104.7	-0.3	-0.01	0.0	0.00

* 寄与度：総合指数の上昇に対して各費目がどれだけ影響したかを示します。

6. 前月との比較

総合指数は99.8で、設備修繕・維持(6.7%)、シャツ・セーター類(16.7%)、などが上昇したため、前月と比べると0.3%上昇しました。

生鮮食品を除く総合指数は99.8で、前月と比べると、0.5%上昇しました。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.7で、前月比プラス0.6%でした。

● 上昇した中分類指数等の主な項目(寄与度順)

設備修繕・維持 [住居]	(+)	6.7%
シャツ・セーター類 [被服及び履物]	(+)	16.7%

● 下落した中分類指数等の主な項目(寄与度順)

生鮮果物 [食料]	(-)	13.9%
生鮮魚介 [食料]	(-)	5.6%

注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の対前月比が比較的大きな項目のみを掲載しています。[]内は、10大費目名です。

注) 生鮮食品(生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物)については、小分類指数です。

7. 前年同月との比較

総合指数は、前年同月と同水準となりました。中分類指数の主な項目をみると、下落した主な項目では家賃（-2.3%）、教養娯楽用耐久財（-16.7%）などの寄与度が高くなっています。一方、上昇した主な項目は、設備修繕・維持（+6.7%）、自動車等関係費（+1.9%）、ガス代（+10.0%）などです。

生鮮食品を除く総合指数は、前年同月と比べると-0.1%で、2か月連続で下落しました。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は、マイナス0.7%と33か月連続で下落しました。

● 上昇した中分類指数等の主な項目（寄与度順）

設備修繕・維持 [住居]	(+)	6.7%
自動車等関係費 [交通・通信]	(+)	1.9%
ガス代 [光熱・水道]	(+)	10.0%
電気代 [光熱・水道]	(+)	4.6%
生鮮野菜 [食料]	(+)	5.9%

● 下落した中分類指数等の主な項目（寄与度順）

家賃 [住居]	(-)	2.3%
教養娯楽用耐久財 [教養娯楽]	(-)	16.7%
家庭用耐久財 [家具・家事用品]	(-)	8.5%
通信 [交通・通信]	(-)	2.6%
教養娯楽サービス [教養娯楽]	(-)	1.3%

注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の対前年同月比が比較的大きな項目のみを掲載しています。[] 内は、10大費目名です。

注) 生鮮食品（生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物）については、小分類指数です。